「安中市新庁舎建設基本設計」を策定しました

問困資産活用課庁舎建設室（☎内線1056・1057）

市は、昨年10月に策定を行った「安中市新庁舎建設基本計画」を基に検討を進め、「安中市新庁舎建設基本設計」を策定したので、その概要をお知らせします。

基本設計（市HP）

○設計概要について

- 建物構造　鉄筋コンクリート造・耐震構造
- 規模　地上3階
- 延床面積　7,724㎡
  内訳　庁舎本体部　7,279㎡
  庇（ひさし）部等　445㎡
- 駐車場台数　約160台

○災害対応について

- 十分な耐震性能や非常用発電の採用など、災害時にも業務を継続することができる構造・設備にします。
- 危機管理課などの災害対策機能をひとまとめに配置し、迅速に災害対応にあたれるようにします。

○ユニバーサルデザインについて

- 点字や外国語併記、色彩などで工夫し、分かりやすい標識にします。
- 思いやり駐車場や多機能トイレの設置だけでなく、授乳室の配置やカウンターの工夫など、誰にとっても安心して快適に利用できるようにします。

○環境配慮計画について

- 環境に良い庁舎とするため、ZEB　Ready認証取得を目標とします。（※1）
- 耐久性や省エネルギー性能に配慮した設備・機器を導入します。

○配置図

○概算事業費について

- 基本設計における概算建設事業費　約58億円
  ※本体工事・外構・解体などの概算工事費です
  ※実質負担額は約26.4億円です
- 資材費・人件費の高騰などにより昨年度試算時点より増額しています。財源は各種基金や合併特例債などの有利な起債を活用し、財政負担の軽減を図ります。

※1　ZEB Ready　従来の建物で必要なエネルギーの、半分のエネルギーで稼働する建物のこと